

# 首羅山遺跡が国指定史跡となりました。

平成17年度より調査を開始した首羅山遺跡は、八年間の調査を経て国指定史跡となりました。福岡県内の山岳寺院(山林寺院)の国指定史跡としては、豊前市の求菩提山に次いで二例目となります。修験で名高い英彦山や宝満山に比べても小さな山ですが、大変重要な遺跡が眠っていたのです。指定面積は約40haとなっています。

## 国指定史跡とは

史跡とは、歴史上、観賞上などから価値の高い文化財のうち、遺跡などの人間の生活の痕跡をいいます。それを保護するために、自治体や国が指定するものが指定史跡です。そのなかで、久山町にとって重要な史跡は「久山町指定史跡」、福岡県にとって重要なものは「福岡県指定史跡」、そして日本にとって重要なものが「国指定史跡」となります。



調査風景

首羅山遺跡は日本の歴史にとつて重要な遺跡であることが認められたのです。

## 遺跡の内容

首羅山遺跡は、久原にある白山に位置する遺跡です。今から900年前、平安時代の終わり頃、この山は「首羅山」と呼ばれ、350もの坊(お坊さん)の住処やお寺がありました。

調査の結果、平安時代後期後半から鎌倉時代に最盛期を持つ寺院があったことがわかりました。また、中国から運ばれたものなど、大陸と深くつながった華やかな寺院が示す遺物が発見されました。当時の日本最大の貿易港博多の周辺の特徴を色濃く残し、大陸と深くつながった華やかな寺院があったことがわかりました。

## 「地域の力」が生んだ「国指定史跡首羅山遺跡」

首羅山遺跡が国指定史跡になった理由は、遺跡の重要性だけではありません。

久原小学校の卒業記念の壁画に描かれた「私たちの首羅山遺跡」という言葉が示すとおり、



久原小学校卒業制作の壁画

小学生のふるさとを愛する心、地元やボランティアさんの取り組み、まさに「地域の力」が高く評価されたのです。

## 首羅山遺跡国指定記念イベント

首羅山遺跡が国指定となった平成25年は、さまざまな記念行事を行います。

その一つとして10月5日(土)には雅楽師で、世界遺産コンサートでの演奏を通じて文化財の保護に貢献されている東儀秀樹さんを迎え、子どもたちや久山檉太鼓とのセッションなどを予定しています。その他の行事につきましても、後日ホームページや広報でお知らせしていきます。(首羅山遺跡についてはホームページにて動画「首羅山遺跡は今」を配信中です)



雅楽師 東儀秀樹さん

## NPO法人世界遺産コンサート 伊澤信義さんコメント

営々と黙々と首羅山の建造物造営に従事した古の人たちに、思いを巡らせています。今年10月5日の東儀さんの演奏は、その人たちの鎮魂の調べであり、久山町の誇り高き首羅山が日本の首羅山になったことの報告でもあります。その人たちがみなさんにはつながっています。よかったですね。おめでとうございます。

※来月号から首羅山遺跡の歩みの連載を予定しています。

## 国指定史跡の指定にあたって

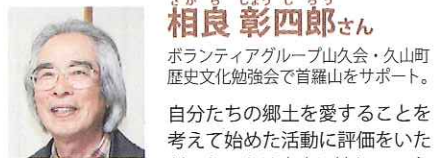
平成17年度から調査してまいりました、中世山林寺院跡の首羅山遺跡が本町初の国指定史跡となりました。わずか8年という異例の短期間で、国指定史跡となるにいたったことは、首羅山遺跡が持つ、高い文化的な価値を表すだけでなく、地元久原区を始め、地権者やボランティアグループ等、この遺跡に対する熱い想いを持った皆様のご支援とご協力の賜物であります。ここに深く感謝いたします。



久山町長 久芳菊司

今後は首羅山遺跡を町の歴史の1ページを紐解く貴重な歴史的遺産として、将来にわたり保存していくと共に、町民に親しまれ愛される遺跡となるよう、本年度から首羅山遺跡保存整備指導委員会を設置し、遺跡の保存・整備を行ってまいります。

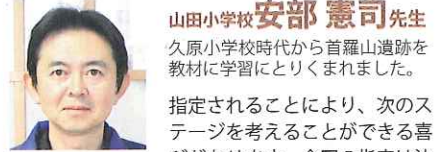
最後になりましたが遺跡の調査指導をしていただきました首羅山遺跡調査指導委員会の先生方をはじめ多くの関係者の方々に厚くお礼申し上げます。



## 相良彰四郎さん

ボランティアグループ山久会・久山町歴史文化勉強会で首羅山をサポート。

自分たちの郷土を愛することを考えて始めた活動に評価をいただいたことは素直に嬉しいです。国指定になった後、地域としてどう活用していくかが課題だと思います。文化財は保存するだけでなく今の私たちの暮らしやまちづくりに活かしていくことが大事だと思います。今後この首羅山遺跡が地域で愛され素敵なまちづくりへと繋がってほしいと思います。



## 山田小学校 安部 憲司先生

久原小学校時代から首羅山遺跡を教材に学習にとりくまれました。

指定されることにより、次のステージを考えることができる喜びがあります。今回の指定は決してゴールではなく首羅山を軸に人ととのつながりがより広がり、久山町全体が活性化すると思います。

10月にある首羅山のイベントには5年前から教えてきた卒業生たちにも声をかけて参加してもらい一緒に盛り上げていき、温かみのあるものになりたいと思います。